



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月31日

上場会社名 三井製糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2109 URL <http://www.mitsui-sugar.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 雑賀 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 馬鳥 秀彰 TEL 03(3663)3111
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月6日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	80,739	2.8	5,807	39.4	11,362	23.6	7,218	27.1
29年3月期第3四半期	78,557	2.4	4,164	△13.1	9,196	△11.4	5,677	△6.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 7,981百万円 (37.8%) 29年3月期第3四半期 5,794百万円 (△3.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	270.33	—
29年3月期第3四半期	212.62	—

※当社は、平成28年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	130,770	88,542	62.0	3,035.18
29年3月期	121,549	83,682	63.1	2,872.96

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 81,047百万円 29年3月期 76,717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.00	—	65.00	—
30年3月期	—	50.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	60.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日（平成30年1月31日）公表いたしました「平成30年3月期（第94期）配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※当社は、平成28年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成29年3月期第2四半期末の1株当たり配当金につきましては、当該株式併合前の金額を記載し、平成29年3月期の年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合後の基準で換算した平成29年3月期の1株当たり年間配当額は100円となります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,000	2.7	6,000	15.0	13,600	8.8	8,800	17.6	329.55

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	28,333,480株	29年3月期	28,333,480株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,630,828株	29年3月期	1,630,251株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	26,703,009株	29年3月期3Q	26,704,414株

（注）当社は、平成28年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景とした緩やかな回復基調が継続する中、個人消費も持ち直しの兆しが見られました。海外経済の展望も概ね良化傾向にあります。依然として米国の政策動向や、北朝鮮情勢を始めとする地政学リスクなどにより、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは第6次中期経営計画「Mitsui Sugar Revolution Phase 3（三井製糖2022への道）」（2016年4月～2018年3月）の達成に向け、各施策の実行に鋭意取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績及びセグメントの概況は以下の通りであります。

(砂糖事業)

海外粗糖相場につきましては、期初は16セント後半でスタートした後、世界的な需給緩和観測などを受けて急落し、6月末には12セント半ばまで下落いたしました。その後、13セント～15セント半ばで上下を繰り返したものの、その範囲を大きく逸脱することなく推移し、当第3四半期末を15セント前半で迎えました。以上のような相場動向の中、当社では適切な原料糖調達に努めてまいりました。

生産面では、産地毎の原料糖品質に合わせた工程制御と管理を適切に行い、安定操業に努めましたが、燃料費の上昇を受け前年同期比で製造変動費が微増となりました。

販売面では、惣菜向けや加工食品向けの出荷は好調を維持しましたが、飲料ユーザー向けが低調に推移した他、家庭用については量販店での販売減が響き、全体として販売量は前年同期を下回りました。

連結子会社では、北海道糖業(株)は販売量減少により減益となったものの、生和糖業(株)は生産量・販売量ともに前年同期を上回り好調に推移いたしました。

以上の結果、砂糖事業全体で、売上高64,290百万円、営業利益4,198百万円となりました。

期中の砂糖市況

国内市中相場（日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり）

始値195円～196円 高値195円～196円 安値189円～190円 終値189円～190円

海外粗糖相場（ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり）

始値 16.93セント 高値 17.18セント 安値 12.53セント 終値 15.16セント

(フードサイエンス事業)

パラチノース、パラチニットの販売はやや低調な動きとなりましたが、販売費及び一般管理費の減少もあり、営業利益は前年同期を上回りました。

連結子会社では、(株)タイショーテクノで販売量が増加したほか、ニュートリー(株)は当期首に行った事業譲受により規模が拡大し、増収増益となりました。

以上の結果、フードサイエンス事業全体で、売上高15,046百万円、営業利益953百万円となりました。

(不動産事業)

前期に岡山市で竣工した物流センターの賃貸並びにメガソーラー発電が安定的に稼働したこと等により、売上高・営業利益ともに前期を上回り、売上高1,402百万円、営業利益655百万円となりました。

以上の結果、全セグメントにおいて営業利益が前年同期を上回り、当第3四半期連結累計期間の売上高は80,739百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は5,807百万円（前年同期比39.4%増）となりました。

営業外損益においては、タイ国関連会社において粗糖相場低迷に伴う損益の悪化を主因として持分法による投資損失を計上したものの、受取ロイヤリティ5,744百万円を計上したことから、経常利益は11,362百万円（前年同期比23.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,218百万円（前年同期比27.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

〔連結財政状態の変動状況〕

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比9,221百万円増加し130,770百万円となりました。連結貸借対照表の主要項目ごとの主な増減要因等は次の通りであります。

①流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比9,979百万円増加し60,187百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加5,738百万円、受取手形及び売掛金の増加1,218百万円、原材料及び貯蔵品の増加3,374百万円等があったことによるものであります。

②固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比758百万円減少し70,582百万円となりました。これは主として、建設仮勘定の増加506百万円等があった一方で、建物及び構築物の減少331百万円、のれんの減少478百万円、退職給付に係る資産の減少223百万円等があったことによるものであります。

③負債

負債は、前連結会計年度末比4,361百万円増加し42,227百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の増加3,596百万円、未払消費税等その他流動負債の増加1,878百万円等があった一方で、借入金の減少269百万円、未払費用の減少543百万円、退職給付に係る負債の減少333百万円等があったことによるものであります。

④純資産

純資産は、前連結会計年度末比4,859百万円増加し88,542百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益7,218百万円、剰余金の配当3,070百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年10月31日に公表のとおりとし、変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,072	24,810
受取手形及び売掛金	8,447	9,666
商品及び製品	13,493	14,442
仕掛品	1,891	1,679
原材料及び貯蔵品	4,111	7,486
繰延税金資産	555	463
その他	2,671	1,674
貸倒引当金	△36	△36
流動資産合計	50,207	60,187
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,976	36,928
減価償却累計額	△22,483	△22,766
建物及び構築物(純額)	14,493	14,161
機械装置及び運搬具	76,484	77,242
減価償却累計額	△61,230	△62,006
機械装置及び運搬具(純額)	15,253	15,236
工具、器具及び備品	2,426	2,451
減価償却累計額	△2,035	△2,062
工具、器具及び備品(純額)	391	389
土地	18,436	18,436
リース資産	893	908
減価償却累計額	△310	△377
リース資産(純額)	582	531
建設仮勘定	97	604
有形固定資産合計	49,255	49,359
無形固定資産		
のれん	1,852	1,374
その他	761	676
無形固定資産合計	2,614	2,051
投資その他の資産		
投資有価証券	11,690	11,657
長期貸付金	24	26
退職給付に係る資産	550	326
繰延税金資産	690	655
その他	6,540	6,530
貸倒引当金	△24	△25
投資その他の資産合計	19,471	19,171
固定資産合計	71,341	70,582
資産合計	121,549	130,770

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,114	8,710
短期借入金	4,070	4,710
1年内返済予定の長期借入金	1,213	1,045
リース債務	93	96
未払費用	2,860	2,317
未払法人税等	1,686	1,819
役員賞与引当金	64	50
その他	2,586	4,464
流動負債合計	17,689	23,215
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	2,604	1,862
リース債務	517	462
繰延税金負債	1,757	1,798
役員退職慰労引当金	223	225
退職給付に係る負債	3,182	2,848
資産除去債務	408	396
その他	1,482	1,419
固定負債合計	20,176	19,012
負債合計	37,866	42,227
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,291	1,291
利益剰余金	70,123	74,271
自己株式	△2,905	△2,907
株主資本合計	75,592	79,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	931	888
繰延ヘッジ損益	△1	12
為替換算調整勘定	59	251
退職給付に係る調整累計額	134	157
その他の包括利益累計額合計	1,124	1,309
非支配株主持分	6,965	7,495
純資産合計	83,682	88,542
負債純資産合計	121,549	130,770

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	78,557	80,739
売上原価	59,791	60,455
売上総利益	18,766	20,283
販売費及び一般管理費		
配送費	3,616	3,574
役員賞与引当金繰入額	39	49
退職給付費用	179	151
その他	10,765	10,700
販売費及び一般管理費合計	14,601	14,475
営業利益	4,164	5,807
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	142	108
受取ロイヤリティー	5,401	5,744
雑収入	221	149
営業外収益合計	5,767	6,003
営業外費用		
支払利息	67	54
持分法による投資損失	351	158
固定資産除却損	49	60
設備撤去費	76	121
雑損失	189	54
営業外費用合計	736	448
経常利益	9,196	11,362
特別利益		
補助金収入	8	24
負ののれん発生益	—	24
投資有価証券売却益	—	73
特別利益合計	8	121
特別損失		
減損損失	50	—
固定資産圧縮損	1	26
特別損失合計	51	26
税金等調整前四半期純利益	9,153	11,458
法人税、住民税及び事業税	2,737	3,588
法人税等調整額	255	105
法人税等合計	2,992	3,693
四半期純利益	6,160	7,764
非支配株主に帰属する四半期純利益	482	546
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,677	7,218

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	6,160	7,764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	254	△37
繰延ヘッジ損益	17	23
退職給付に係る調整額	△3	35
持分法適用会社に対する持分相当額	△634	195
その他の包括利益合計	△365	217
四半期包括利益	5,794	7,981
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,316	7,403
非支配株主に係る四半期包括利益	478	578

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	65,830	11,504	1,223	78,557	—	78,557
セグメント間の内部 売上高又は振替高	44	93	30	169	△169	—
計	65,875	11,597	1,253	78,726	△169	78,557
セグメント利益	3,170	489	504	4,164	—	4,164

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	64,290	15,046	1,402	80,739	—	80,739
セグメント間の内部 売上高又は振替高	47	90	30	168	△168	—
計	64,337	15,137	1,432	80,907	△168	80,739
セグメント利益	4,198	953	655	5,807	—	5,807

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。